

京橋の印刷

11月5日1999・No.104

東京都印刷工業組合京橋支部
〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8
日本印刷会館3F 電話 3552-1855
FAX 3297-3790
http://www.threelight.co.jp
kyobashi@blve.ocn.ne.jp
発行人 水野 雅生

大衆時代とジャーナリズム

支部長 水野 雅生

明治になって印刷物が新聞と言う形態をとってから新しいコミュニケーションが発達していく。マス・メディアの登場である。十九世紀から二十世紀にかけて生まれたジャーナリズムは、大衆の成長をその基盤としていた。ジャーナリズム、マス・メディアが近代から現代に果たした役割ははかりしれない。コミュニケーション

ケーションが真に社会と関わりを持つ時代が到来したといえるだろう。新聞草創期を経て、それまでほんのひとにぎりの人々の占有物であった印刷物が、次第に庶民に広く利用される利器に変わっていった。大衆は生々しいニュース、目を引く見出しや、興奮や驚きを誘う文章等にすっかり魅了され、発行部数も著しい伸びを示した。日本が近代化への道を進み出したとき、新たな洋式印刷術により、印刷・出版文化が始まった。
(ミズノプリンティングミュージアム 館長)



「朝日新聞」明治十二年一月二十五日 第一号

最初の日刊新聞は明治三年の「横浜毎日新聞」で、さらに「東京日々新聞」「郵便報知新聞」などの新聞が続いた。上記の「朝日新聞」は大阪で第一号が発刊された。

「ダイオキシンを考える」 副支部長 松岡誠一郎

六月二十一日の新聞各紙の報道で猛毒と言われるダイオキシンの規制値が発表された。

ダイオキシンの毒性を検討していた厚生省と環境庁の合同ワーキンググループは二十一日、環境規制の基礎データとなる耐容一日摂取量(TDI=生涯摂取し続けても健康に問題がないとする一日当たりの量)を、従来の体重一キログラム当たり十ピコグラムから、半分以上の同四ピコグラムに厳格化する内容の報告書を両省庁の合同審議会に提出した。

ダイオキシンは癌を誘発する物質として有名であるが、以前問題になった冷蔵庫や冷房機器に冷却媒体として使われていた人口的に作られたフロンガスとは違って天然に存在する物質であるだけに国の規制が決まらなかったからと言って、どのように守っていくか難しい問題が山積するものと思われる。

ダイオキシンは物を燃やせば発生すると考えられ、ストーブの煤やタバコの煙にも極く微量ではあるが混じっているし火山からも出ている。物質の製造やゴミの焼却処理、自然環境中の物質の燃焼など様々な過程で塩素成分と炭化水素成分の反応によって生成される。60%が塩素といわれる塩化ビニールがダイオキシン発生の主要原因と考えられているが、これは些か短

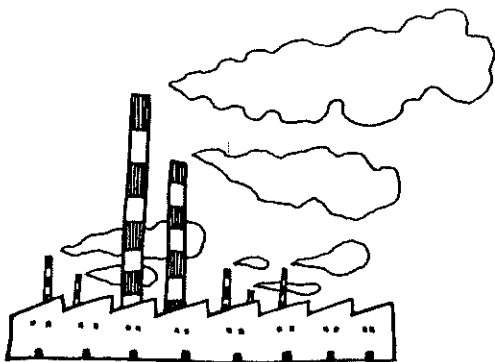
絡的で必ずしもそうではないらしい。都市ゴミ焼却では雑芥中の食塩や無機塩からもダイオキシンが発生している。化学工業業界では対策として高熱で焼却すれば、かなり発生を押さえられる等研究されているそうである。

ひるがえって我が印刷業界ではどうであろうかと考えると樹脂系のインクやラミネート製品又上製本の表紙等に化学物質が使われているので、将来的にはこれらが焼却処理されないような製品を製造する必要があると思われる。(いきおい電子化が進むかも)

さて、冒頭の規制単位であるピコグラムとはどの位の量を言うのであろうか。pgと書き一兆分の一グラムを言う。ちなみにグラムの下はミリグラムで1000gでμgと書き更にナノグラムで1000000gでngと書き、その下がピコグラムである。

これらは全て外来の単位であるが我が国でも江戸時代初期の数学書「塵劫記」に記されている。分、厘、毛、糸。の下に「祲」「忽」「微」「纖」「沙」「塵」「劫」「渺」「莫」「模糊」「須臾」「瞬息」「彈指」「刹那」「六徳」「空虚」「清淨」。ナノは十億分の一で「塵」に当たるそうだが、一ピコとは一兆分の一で「莫」に当

たるものと思われる。
 一清淨は0.00000000000000000000000000001で限りなく0に近い単位である。先人達の勉強ぶりに驚くと同時に当時から空気が汚染されていたのかと動練りたくもなる。



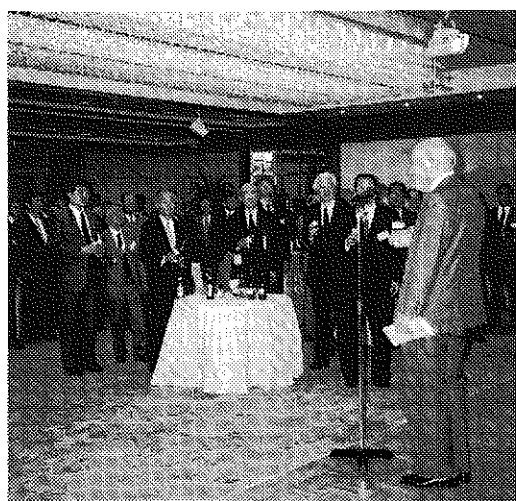
平成11年度 通常総会開催 於・銀座東武ホテル

5月17日(月)18時より、銀座東武ホテルに於いて、京橋支部平成11年度通常総会が開催されました。宇野副支部長の司会により、西山副支部長が開会のことばを述べて始まり、先ず水野支部長が執行部を代表して次のような挨拶を行いました。「昨年5月、伝統ある京橋支部の支部長に就任して以来、早くも1年が経過しました。その間、優秀な執行部メンバーのお力添えをいただき、また、支部組合員の皆様には本部事業を始め支部運営に多大なご理解とご協力を賜り、ここまでやって参りました。」



不況に強い印刷業という神話は過去のものとなってしまった今、この長い不況にあつて印刷企業はサバイバル作戦を展開し、企業努力をして行き、勝ち組になりたい。又、今後1年は組合員相互の情報交換、教育事業、組合員加入増強に力を注いで行きたい。」と述べ、終りに「これからの1年、組合員の皆様方にはこれまで以上のご理解とご協力をお願いしたい」とあいさつしました。

次に、議事へと移り、まず議長・副議長の選出では、議長に八丁堀地区から小倉昭夫氏、副



議長に築地地区の神田範世氏が選出されました。

小倉議長の議事進行で第1号議案・平成10年度事業報告、第2号議案・平成10年度収支決算報告はその資料が配られていることから一括上程され、第1号議案は花崎副支部長より報告、第2号議案は石澤副支部長より説明され、ともに大きな拍手で承認されました。

続いて平成10年度監査報告は小澤監査、春原監査より監査結果報告があり拍手で承認を受けました。

次に第3号議案・平成11年度事業計画(案)、第4号議案・平成11年度収支予算(案)は関連議案であることから一括上程となり、第3号議案は花崎副支部長より提議され、その骨子は、一、経営革新支援法に関する情報の収集及び対応、二、マーケティング・技術・経営に関する研修会の開催、三、組合活動活性化への取組み、各地区1社以上の加入増強運動の実施、四、中央区工業団体連合会の「ハイテク技能センター」設立へ向けての準備、五、「生命共済・火災共済・自動車共済・セツビ共済」等の共済制度の活用促進、六、区行政の支援を得ての地場産業活性化事業への取り組み、以上6項目が強調され大きな拍手で承認されました。

続いて第4号議案は石澤副支部長より平成11年度予算案として三、二二七万六千円の計上案があり拍手で承認を受けました。

最終議案の第5号議案・次期役員選考委員の選任については水野支部長より支部規約第4章

第12条に基づき部長会の議を経て、次の11名の方々が選出され、満場一致で承認されました。(以下敬称略)

- | | | | |
|-------|-------------|-----|----|
| 支部顧問 | 石澤印刷(株) | 石澤 | 幸 |
| 同 | (株)小葉印刷所 | 小葉 | 忠昭 |
| 同 | 高千穂印刷(株) | 小山 | 英美 |
| 同 | (株)久栄社 | 田島 | 一彌 |
| 同 | (株)ディゲ | 篠倉 | 正信 |
| 支部相談役 | 神林印刷(株) | 神林 | 克明 |
| 同 | 誠文社印刷(株) | 荒川 | 龍治 |
| 同 | 三雄舎印刷(株) | 十文字 | 康雄 |
| 支部長 | ミスノブリテック(株) | 水野 | 雅生 |
| 副支部長 | 大東印刷工芸(株) | 花崎 | 博己 |
| 地区長 | (株)相互美術印刷本社 | 小倉 | 昭夫 |

以上第1号議案から第5号議案までスムーズな議事進行により審議は無事終了し、議長・副議長は退場となりました。

続いての来賓あいさつでは、東印工組理事長・中村守利氏、中央区工団連副会長・中條好司氏、そして中央区長・矢田美英氏より挨拶があり、中村理事長の挨拶の中では、先般の3共済キャンペーンで京橋支部は3部門完全目標達成を成し遂げたことへの感謝と敬意を表わすことばを述べられました。また、来賓紹介では中央区民部商工課長・斎藤裕文氏、東京都製本工業組合京橋支部支部長・岸田俊辰氏が紹介されました。総会最後は松岡副支部長が閉会のことばを述べ、平成11年度通常総会は無事終了しました。

引続き別室で懇親会が開かれ、松岡副支部長



の司会により、まず、水野支部長があいさつを述べたあと、来賓の東製工組京橋支部長の岸田俊辰氏が挨拶しました。続いて京橋支部顧問・石澤幸氏が乾杯の音頭をとり、一同これに和して声高く乾杯しました。

懇談に入ってから是一段と宴も盛り上がり、中締めは前々京橋支部長の荒川龍治本部常務理事が行い、8時50分過ぎにお開きとなりました。



「長寿者の集い」

6月12日(火)(午後5時) 於・銀座東武ホテル

隔年に開催される京橋支部の、「長寿者の集い」が6月15日(火)、銀座東武ホテル2階にて開催されました。

70歳以上の現・旧事業主は支部内で46名を数え、その内13名の方々が出席されました。

今回は、第一部、第二部とに分け、第一部では記念講演会として、講師に千葉大学名誉教授・清水馨八郎先生を招聘し、「元気が出る話」と題し大変興味深い話をされました。先生は今年80歳を迎えられましたが、とてもそのお年には見えない若さで熱弁を振るわれました。



第一部を終了のあと、出席者全員での記念写真撮影を行い、第二部「長寿者の集い」へと移りました。

会是小澤監査の司会で始まりましたが、会の始めに全員起立して組合員物語者の霊に1分間の黙祷を捧げ、ご冥福をお祈りしました。

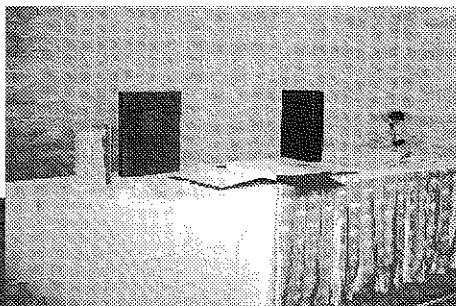
続いて水野支部長の挨拶があり、本日来賓の方々への御礼を述べ、長寿者へお祝いのごことはと、諸先輩が培って来た京橋支部の伝統を今後とも守り続けて行きたいとあいさつしました。

来賓挨拶は矢田美英中央区長が挨拶をされ、来賓紹介は中央厚生事業協同組合理事長の川崎哲雄氏、中央区区民部商工課長の斎藤裕文氏のお二人が紹介されました。

長寿者代表あいさつは、支部顧問の石澤幸氏がいつもの澆刺とした言葉で御礼のあいさつをされました。続いての乾杯は同じく支部顧問の斎藤喜徳氏の音頭により、一同これに和して杯をあげました。

このあとは歓談へと移り、各々和やかな一時を過ごし、途中でこの日のために斎藤顧問よりの提案により、会場内の一角に展示されたミズノプリンティングミュージアム所蔵の(ジェフリー・チヨーサー著「カンタベリー物語」|| 高精細印刷・復刻版)、(百万塔陀羅尼)|| 復刻版)、(グーテンベルク「42行聖書ベラム刷3葉」|| 高精細印刷・復刻版)、(慶応義塾大学所蔵「浮世絵6種」|| 高精細印刷・復刻版)「いざれもミズノブリテック(株)で印刷」により、斎藤顧問の解説に水野支部長も加わり、作品の説明が行わ

れ、同業者の会にふさわしい話題提供がありました。盛り上がった集いも終りに近づき、最後は支部顧問の大竹次郎氏の発声による「万歳三唱」を全員で行いお開きとなり、用意されたお土産を手に、次回二〇〇一年の再会を楽しみに散会となりました。



永年勤続従業員表彰式

於・労働スクエア東京

10月13日(水)、午後6時より隔年開催の京橋支部・永年勤続従業員表彰式が労働スクエア東京・7階に於いて行われました。

今回の被表彰者は5年勤続39名、10年勤続29名、15年勤続14名の計82名で、式への参加は内44名が参加して行われました。

式は松岡副支部長の司会、進行で始まり、花崎副支部長が開会の辞を述べ、続いて水野支部長の挨拶は来賓の方々への御礼を述べた後、受章者への餞の言葉として、「継続は力なり」と言われ、仕事の継続、企業の継続へ向けて自身のを、会社発展の為に力を発揮していただきたい。



又、「3ボレ」を奨め、一は会社に惚れ、二に仕事に惚れる、三は天職の自覚、三は女房に惚れて会社の繁栄と家庭の繁栄になるよう精進して頂きたい。との挨拶がありました。

表彰状と記念品の贈呈は5年勤続を代表して日本精版印刷(株)の安田和人様に、10年勤続を代表して石澤印刷(株)の園野泰行様に、15年勤続を代表して(株)久栄社の田辺英夫様に水野支部長より手渡されました。

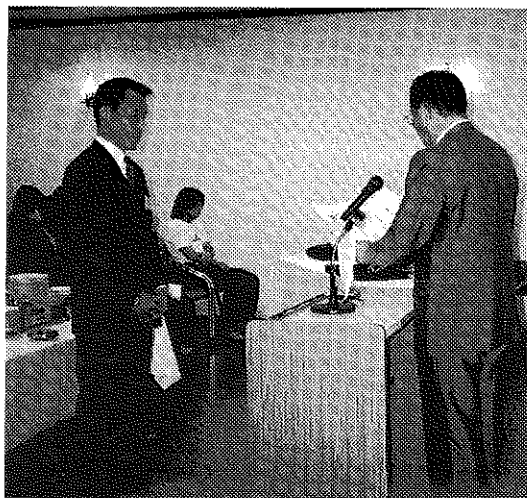
続いて来賓挨拶は、東印工組常務理事十文字康雄殿、中央区工団連会長小薬忠昭殿が祝詞を述べられました。

この後、受章者82名を代表して、(株)久栄社の田辺英夫様が前へ進み「謝辞」を述べて、宇野副支部長の閉会の辞により表彰式は終了しました。

約10分程間をおき、祝宴へと移り、先ず公務の都合によりご出席出来なくなった中央区長の矢田美英殿に替ってご出席された、中央区助役の茂木三千彦殿より、来賓挨拶がありました。

続いて、東印工組常務理事の荒川龍治殿が挨拶と乾杯の音頭をとり、一同若い力でこれに和して杯を上げ、用意された祝宴へと移りました。

祝宴は賑やかに進み、石澤副支部長の中締めでお開きとなりました。



平成11年度中央区産業高度化支援事業

デスクトッププリプレス
(DTP)研修会

中央区と京橋・日本橋支部主催で行われる、平成11年度研修会が、10月12日(火)の経営者向け講座から、3部門に亘って開催されました。

この研修会は中央区が区内印刷関連業のデジタル化に対応する技術習得・向上を支援するため実施され、受講料は3部門すべて無料で行われました。

1、経営者向け講座(講義)

10月12日(火)午後6時～8時30分

「進む顧客の内製化、生き残り戦略の模索」

。講師 (社)日本印刷技術協会 竹原 悟氏

。定員 70名

。会場 区立中央会館 7階孔雀・芙蓉の間

2、営業担当者向け講座(講義)

① 第1回：10月14日(木)午後6時～8時30分

「DTPのトラブルとその原因」

。トラブルを防ぐ受注の準備

。デジタル技術とトラブルの原因 等

② 第2回：10月19日(火)午後6時～8時30分

「DTPの受発注知識」

。DTPの受発注

。DTP作業の実際と受注方法 等

③ 第3回：10月21日(木)午後6時～8時30分

「DTPから電子メディアへ」

。新たな受注へ

。活用の増える電子媒体 等

①②③：

。講師 (社)日本印刷技術協会

。専任講師 野尻 研一氏

。定員 各回70名

。会場 区立中央会館 7階孔雀・芙蓉の間

3、DTP実習講座(2、の営業担当者向け講座の受講者を対象とします)

「実際の制作工程とDTPトラブルの実際と見抜き方」

内容 原稿の内訳・Quark XPressを中心とした制作手順・Quark XPressを中心とした制作手順・Quark XPressを中心とした制作手順・Quark XPressを中心とした制作手順

のトラブル・イラストレーターの製版とラブル・文字のトラブル・画像のトラブル・デジタルの正体・各アプリケーションでのデータ確認 等

次の3回の内いずれか1日 (午前10時～午後5時)

。第1回 10月16日(土)、第2回 10月23日(土)、第3回 11月6日(土)

。第1・3回

。会場 アクト情報ビジネス専門学校 (北区東田端1-4-4)

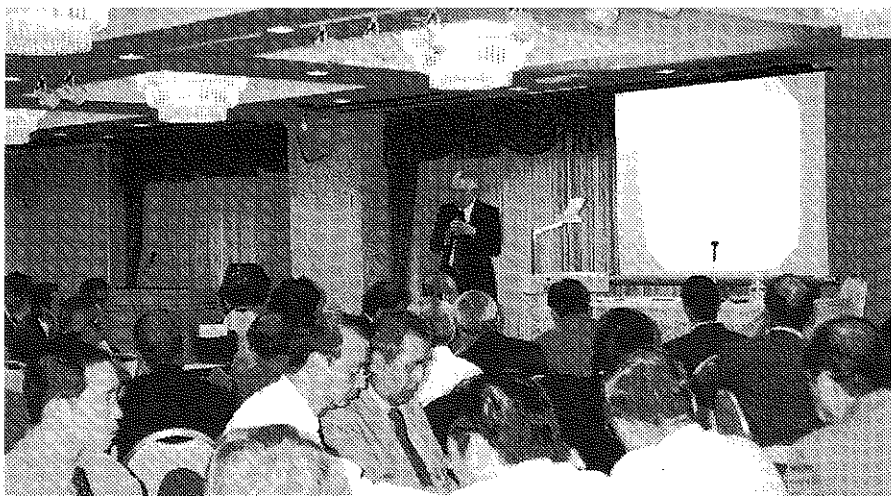
。定員 各回25名(延べ50名)

。第2回

。会場 日本印刷技術協会 (杉並区和田1-29-11)

。定員 10名

。会場 日本印刷技術協会



地区だより

八丁堀地区会サークル活動

＜その一＞八親会旅行会

■雨に煙る伊豆下田・蓮台寺温泉清遊■

4月10日～11日 参加15名

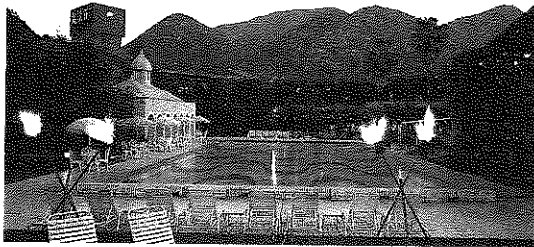
この旅行会が電車を利用し然も目的地が伊豆方面というのは、すぐには記憶に浮かばぬほど久しぶりのこと。毎年行き先探しが幹事の頭痛の種で、どこそこの旅館がすばらしいなどの風評を基におおむね決められるが、今年もその伝で蓮台寺の清流荘が良かったとの情報提供で即決定した。ツーリストの当初プランは例によってトイレ付き大型バス、随所に見物箇所をちりばめた伊豆半島ぐるり一周のフルコースだったが、日程が近づくにつれ、ちよつと待てこのメニューでは重すぎる、「踊り子号」で直行し目的地の風情をより堪能する方が良いと急遽電車に変更となった。

ダイエツトメニューになったので東京駅はゆつくりの11時発、横浜からの途中合流組を迎え弁当をひらく頃から車窓にポツリ。伊東・伊豆高原あたりを過ぎてスーパービューどころか入ったり出たりトンネル道中が尽きたところで蓮台寺到着、所要時間約二時間半。見渡せば柔らかな新緑のそこ此所に桜が点在する山並みに囲まれ、煙るような小雨に余計にシットリしたひなびた温泉地。東京では肌寒で長続きした桜

もすでに散ったが、種類がちがうのか伊豆南端のこの地ではまだ七～八分咲きの見どころなのが意外だ。時間が充分有るので、吉田松蔭寄寓跡なる旧村山邸を見学した後、清流荘に入る。山懐の二千坪の広大な庭に年輪を感じさせる銘木、銘石と数寄屋造りを配するが、面白いのは別面の庭がリビエラ風で、青いプールと白いチエアー、パラソルが椰子、蘇鉄などトロピカル樹木と共に篝火に映え、対した小ロビーではオーディオ名器タンノイが静かにパロックを流している。宿賃次第だが、読みたい本を二、三冊抱え数日滞在したいところで、聞けば外国要人の利用も多いとか。

夜の宴会は稲取だか今井浜だかから遠征のコンパニオンも入り賑やかにいつも通りに進行したが、所期の目的通り宿全体の趣きある風情に浸るべく一次会のみにて各自解放となる。外は夜半に入りても降りしきる。

明けて天気は回復し、駅前の露天農産物売店にて朝掘りの筍を各々二本ずつ当て土産とする。実はこのあたり四囲に竹林多く、筍狩りを目論んでいたが昨日の雨で素人は無理とのお達しで宿に手配



を頼んでおいたもの。その脚で宿のマイク口にて五分ばかりの下田漁港の魚市場に向かう。年に一度の市場祭りがあるとのことで、筍に加え海の幸もと勇躍したものの、案に違ひして干物中心でたいしたものなし。ほどほどのものを求めた後、やや早い蕎麦なら良からうと下田では名代らしい「いし塚」で昼食を済ませ、ぶらり歩きで駅へ向かう。ところが最後のおまけといおうか、何処かで車両故障発生とかで単線鉄道の弱味から一時間遅れの1時30分ようやく「踊り子号」の車中の人となった。

思えばこの旅行、いまさらという訳で石廊崎やなまこ壁、ハリスも唐人お吉も割愛したが、ピンポイントでのゆとりある清遊というそれなりの興趣は満喫できたと思う。

＜その二＞八親会経営技術サークル

■王子製紙米子工場見学と山陰漫遊■

6月4日～6日 参加11名

その昔、工場見学といえば製紙工場は定番の内だったが、プレスやプリプレスなどハード分野に押しやられ、紙は永いこと興味対象の圏外にあった。然し近時のデジタルづけにもやや食傷気味であったことから、今回の山陰遠征では懐かしい(?)製紙工場見学が復活した。

万、止むを得ずの理由にて3人不参加となったが、研究サークル11名は定刻8時40分鳥取空港に降り、迎えのチャーターバスにて海岸沿いの街道を一気に西下する。今回の研修旅行の主目的は米子工場見学と従来見過ごした箇所を重

点とするので、鳥取砂丘や出雲大社はプランの外。観光バスに乗り込みまず気懸かりは出来不出来の落差が大きいガイドだが、幸いテキスト

棒読み型でもなければ自分に酔ってる名人型でもない、関西漫才の上沼恵美子似が河内弁風の喋り口で投げた直球を当意即妙に返してくる回転を良しとする。「因幡の白兔」伝説や「貝がら節」由来を聴きつつ走行するバスに平行したひなびた単線鉄道は、これが天下の山陰本線。

窓外左右も野立看板や中古車販売の旗波が少なく、自然そのままの海岸線と深い山並みの景観こそ山陰の趣きか。そういえば松本清張の傑作「砂の器」の映画化の中で、父子が遍路する叙情的なシーンは確かこの辺りだったと記憶する。倉吉にて少憩で、駐車エリア前で迎える大きな銅像はこの地出身の五十三代横綱・琴桜の土俵入姿なり。水量豊かな掘割沿いの土産物を商う白壁酒蔵郡を散策後、市内15箇所を凝った公衆トイレが有名とかで早速これを利用して出発。海岸線から山峡に入り蒜山より米子自動車道にて樹水高原を経由して大山の山懐に分け入る。大山寺門前で何やら靈験あらたかな静寂がただよう樹林の宿坊・観証院山楽荘にて山菜精進料理の昼食となる。大山寺参拝を済ませた後、清らかな心境そのままに目的地は米子の王子製紙を目指す。山を降りつくと間もなく弓ヶ浜に面した平野部に白煙たなびくひとさわ高い煙突が見えられるのが米子工場。玄関前で今回の見学の紹介の労をとってくれた先着の(株)ヤマトの杉山社長と日本紙パルプ商事(株)の松田部長

並びに工場の高澤管理部長・森崎副部長・木村副部長諸氏の出迎えを受け、早速概況説明と工場案内となる。

米子工場は王子製紙17工場の内でも代表的な高級塗工紙専抄工場で、OK系列と金藤系列がこの中心生産品目。1927年生産開始以降世界最新鋭の技術導入に努めたが、特に97年9月のN-1号抄紙機・塗工機完成により21世紀を先取りした近代的工場に生まれ変わったとか。830億円を投入した建物550m、抄紙ライン延長1500mの巨大な設備を眼のあたりにしつつ、そういえば97、98年に製紙各社は一斉に大増産体制を実施したが、その前の95年夏からの波状

的な用紙値上げや印刷界の反対デモなどがあつたことなどが思い出され、複雑な心境となる。それはさておき、約16万坪の広大な敷地に展開する工場の従業員数は僅か735名で全生産工程はコンピュータによ



る完全自動制御システムにて管理されている。加えて重要課題の環境保全も排水・臭気対策に各種処理装置を設置し対応している。従ってかつての製紙工場独特の臭さが無く、パルプも50%が紙、残り50%は再回収され電力・油に再生産されるために重油は使用してないという。煙突からの白煙も煙りではなく水蒸気とのこと。製品出荷は50%がJRCコンテナで関東方面、50%がトラックで関西方面に向けられる。工場見学後は研修室にて活発な質疑応答が展開され、予定を30分超過した2時間半に亘る見学会は滞り無く終了した。

工場を辞すると今日の宿泊地・皆生温泉はもう目と鼻の先で、陶芸の巨匠・河井寛次郎ゆかりの純和風旅館「ひさご家」に旅装を解く。海を背に松と白砂をあしらった1500坪の庭に数寄屋造りと民芸調造りの離れが回廊式に点状するこの宿は、本来が団体向きでないところへきて金曜日でもあるので閑静そのもの。宴会は皆生の綺麗どころに女中陣も加わり盛り上がる。余談ながら興味深かったのは、新富町の幫間・桜川善平の十八番「三人婆さん」が、こちらでは節廻しも同じながら「三人娘」で演じられたこと。善平師匠の芸も「因幡因幡の…」で始まるから多分こちらが本家で脚色されたのだろう。時季的に名物松葉蟹が無いのは残念だが、旬の岩牡蛎とすずきが逸品で、総じて山陰の料理は旨いと太鼓判を押し、明日からの旅程を考慮し一次会にて散会となった。(紙数の関係で初日の見学記のみの報告とする・榎本)

支部の動き

5月14日(金)本部通常総代会(14時)於・東京

プリンスホテル 水野支部長他出席

5月17日(月)通常総会開催(18時~19時)於・銀

座東武ホテル 司会 宇野副支部長

。開会のことば 西山副支部長

。あいさつ 水野支部長

。議長および副議長の選出

。議事

第一号議案、平成10年度事業報告

花崎副支部長

第二号議案、平成10年度収支決算報告

石澤副支部長

平成10年度監査報告

小澤・春原監査

第三号議案、平成11年度事業計画(案)

花崎副支部長

第四号議案、平成11年度収支予算(案)

石澤副支部長

第五号議案、次期役員選考委員の選任に

ついて

水野支部長

。その他

。議長および副議長の解任

。来賓あいさつ

東印工組理事長

中央区長

中村守利殿

矢田美英殿

中央区工団連副会長

中條好司殿

。閉会のことば

松岡副支部長

。懇親パーティ(18時50分~20時)

会費1万円

進行

松岡副支部長

挨拶

水野支部長

関連業界代表挨拶

東製工組京橋支部長

岸田俊辰殿

乾杯

京橋支部顧問 石澤 幸殿

。飲談

中締 東印工組常務理事

荒川龍治殿

5月22日(土)京橋製本協同組合総会

於・東伊豆

浮山温泉郷(坐漁荘)松岡副支部長出席

5月25日(金)中央厚生事業協同組合総会(17時30分~)

於・ロイヤルパークホテル 水野支部長出席

6月3日(木)中央区工団連定期総会(17時30分~)

於・中央会館7階 水野支部長他出席

6月3日(木)本部支部長会(15時10分~)於・本部会議室

水野支部長出席

6月10日(木)部長・監査・地区長会(11時~14時)於・支部会議室

。本部支部長報告事項

。支部「長寿者の集い」当日の役割について

。京橋の印刷」104号の発行について

。支部・永年勤続従業員表彰式の開催について

。その他

6月13日(日)~14日(月)、99年度中央区工業事業

主・優良従業員宿泊研修会開催、於・山梨

県下部温泉郷「下部ホテル」、山梨県立リ

ニア見学センター、山梨県立美術館、和紙

の里見学、水野支部長出席

6月15日(火)京橋支部「長寿者の集い」開催(17時~)

於・銀座東武ホテル

第一部 記念講演会

講師 千葉大学名誉教授

清水 馨八郎先生

講演終了後・全員記念写真撮影

第二部 「長寿者の集い」

司会

。あいさつ 小澤 監査

。来賓祝辞 中央区長 矢田美英殿

。来賓紹介 中央厚生事業協理理事長 川崎哲雄殿

中央区商工課長 斎藤裕文殿

。長寿者代表あいさつ

支部顧問 石澤 幸殿

支部顧問 斎藤喜徳殿

。乾杯

。飲談

。万歳三唱 支部顧問 大竹次郎殿

6月29日(火)「臨時」部長・監査会(13時~15時)於・支部会議室

議題 工団連・ハイテク技能センターの件

7月1日(木)本部支部長会(15時10分~)於・本部会議室

水野支部長出席

7月15日(木)部長・監査・地区長会(18時~)於・

牡丹 納涼会会費1万円

。支部長報告事項

。平成11年度・中央区産業高度化支援事業
セミナーについて

。その他

7月30日(金)支部ホームページ・内容一部改訂

。支部組合員ホームページ名簿に既立ち上げ事業所のものをリンク

8月18日(水)支部役員有志ゴルフ大会 於・横浜

C・C

8月24日(火)中央厚生事業協組「暑氣払い」(18時) 於・宮川本店 水野支部長出席

9月2日(木)本部支部長会(15時10分) 於・本部会議室 水野支部長出席

於・支部会議室

9月9日(木)部長・監査・地区長会(11時)14時

。本部支部長会報告事項

。各種委員会報告事項

。本部「敬老の集い」9月10日開催について

。支部「永年勤続従業員表彰式」10月13日開催について

。平成11年度中央区産業高度化支援事業DTPセミナーについて

。その他

9月10日(金)本部「敬老の集い」(10時) 於・明治神宮 水野支部長他出席

10月12日(火)平成11年度中央区産業高度化支援事業DTP研修会(18時)20時30分) 於・区立中央会館七階

◇経営者向け講座(講義)

「進む顧客の内製化、生き残り戦略の模索」

。講師 (社)日本印刷技術協会 竹原 悟氏

10月13日(水)京橋支部永年勤続従業員表彰式(18時) 於・労働スクエア東京七階

。司会 松岡副支部長

。開会の辞 花崎副支部長

。挨拶 水野支部長

。来賓挨拶 東京都印刷工業組合常務理事 十文字康雄殿

中央区工業団体連合会会長 矢田 美英殿

謝辞 (株)久栄社 小葉 忠昭殿

閉会の辞 田辺 英雄殿

祝宴 宇野副支部長

乾杯 荒川 龍治殿

東京都印刷工業組合常務理事 石澤副支部長

中締 (会費 5千円)

10月14日(木)平成11年度中央区産業高度化支援事業DTP研修会(18時)20時30分) 於・区立中央会館七階

◇営業担当者向け講座(講義)第一回

「DTPのトラブルとその原因」

。トラブルを防ぐ受注の準備

。デジタル技術とトラブルの原因等

。講師

(社)日本印刷技術協会 野尼 研一氏

10月19日(火)平成11年度中央区産業高度化支援事業DTP研修会(18時)20時30分) 於・区立中央会館七階

◇営業担当者向け講座(講義)第二回

「DTPの受発注知識」

。DTPの受発注

。DTP作業の実際と受注方法等

10月21日(木)平成11年度中央区産業高度化支援事業DTP研修会(18時)20時30分) 於・区立中央会館七階

◇営業担当者向け講座(講義)第三回

「DTPから電子メディアへ」

。新たな受注へ

。活用の増える電子媒体等

《DTP実習講座》

第一回、10月16日(土)

第二回、10月23日(土)(都合により中止)

第三回、11月6日(土)

会場IIアクト情報ビジネス専門学校

(北区東田端一―四―四)

「実際の制作工程とDTPトラブルの実際の見抜き方」

。原稿の内訳

。QuarkXPressを中心とした制作手順

。QuarkXPressを中心にトラブルを検証

編集後記

- ・製版のトラブル
 - ・イラストレーター製の版トラブル
 - ・文字のトラブル
 - ・画像のトラブル
 - ・デジタルの正体
 - ・各アプリケーションでのデータ確認
- 等

我が家の二〇〇〇年問題対応策……、「ガス、デンキが止まったらどうしましょう?!?!」突然、細君が食卓トイメンから宣まはれたとき、小生の大脳は一瞬、何のことやら即座に反応せず、それでも2・3秒後には、アッ!二〇〇〇年!と閃き、やおら「んっ、燃料はキャンプで使う固形燃料の買い溜めが良いぞ」と、さも以前から家庭での諸対策は考えていたような素振り口にしたら、「アーラ、固形燃料よりガスボンベが良いわよ」と切りかえされた。何とも、お粗末なこと。目下、ドロ縄対策検討中です。

- 一、家電製品について
- 二、電話について
- 三、インターネットについて
- 四、ケーブルテレビについて
- 五、パソコンについて
- 六、乗用車関係等について

- 七、自動現金預け払い機(ATM)について
 - 八、クレジット・カードについて
 - 九、エレベーターについて
 - 十、ビル管理について
 - 十一、電気について
 - 十二、ガスについて
 - 十三、石油の輸入について
 - 十四、食品について
 - 十五、水道水について
 - 十六、下水道について
 - 十七、新聞について
 - 十八、損害保険による補償について
- 以上、十八項目の国民の身の回りの製品等の二〇〇〇年問題への対応状況についてのマニユアルがありました。(横田記)

支部員の異動

脱退組合員

- ・(株)協和美術社、村田伸一氏(湊地区) 6月
 - ・三荒印刷興業(株)、荒川隆司氏(湊地区) 7月
 - ・(株)ユー・エダ、江田幸雄氏(新川地区) 8月
 - ・白橋フォーム(株)、白橋達夫氏(八丁堀地区) 9月
- 加入組合員
- ・(株)実 星、平澤實氏(新川地区) 11月
- 新川一―二十九―十

電話 三五五三―五七九一
FAX 三五五三―五〇三九
お悔やみ申し上げます

- ▼京橋地区
小宮山印刷(株)会長
小宮山敬之殿御逝去(6月)
- ▼湊地区
(株)大成美術印刷所会長令夫人
神保和子殿御逝去(6月)
- ▼新川地区
中庭印刷(株)会長
中庭利男殿御逝去(6月)
- ▼新富地区
オカムラ印刷(株)社長ご母堂
岡村しげ殿御逝去(6月)
- ▼湊地区
(株)松本印刷所社長ご母堂
松本とみ殿御逝去(8月)
- ▼新富地区
神林印刷(株)社長ご尊父
神林信藏殿御逝去(9月)
- ▼湊地区
三洋印刷工業(株)社長
武江武夫殿御逝去(10月)